

進捗状況の概要（1ページ以内）

(1) 本事業計画の進捗状況や成果

本事業計画の主要項目は、「①融合学域の設置」「②先導 STEAM 人材育成プログラム(KU-STEAM)の新設」「③学士課程のリベラルアーツ科目である共通教育 GS 科目と学域 GS 科目の拡充」「④全学的な教育改革の司令塔としての教学マネジメントセンターの設置」である。学長が機構長を務めるグローバル人材育成推進機構の下に、教育担当理事を委員長とする「融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材育成プログラム運営委員会」、教学マネジメントセンター長を兼務する学長補佐を委員長とする「同プログラム企画実行委員会」を設置し、学長・理事のリーダーシップにより事業推進している。令和4年度には、本事業取組の認知度や必要性等を把握するため、本学学生・教員を対象とした「文理融合・分野横断教育(STEAM)に関する意識調査」、産業界を対象とした「就業先企業アンケート」を実施し、現状把握と課題分析を行うことで、事業実施体制の強化に活かしている。また、高大接続を目的とした「探究・STEAM フェスタ」の新規企画や、企業・自治体等が参画した課題解決型演習科目やインターンシップ科目の新規開講を通して、大学教育に留まらず、学校教育から社会への接続を意識した人材育成エコシステムの構築と定着を進めた。さらに、幹事校として、本事業の略称(DP事業)及びロゴマークを策定したほか、採択校同士による共通テーマチームを形成し、各種成果の積極的な情報発信及び全国の高等教育機関への利活用促進を進めている。

(2) 目標の達成状況

本事業計画の主要項目が掲げる目標の達成状況を列挙すると以下のとおりである。

「①融合学域の設置」では、令和4年度開設2年目の先導学類において、一般選抜志願倍率が学内平均を超える3.0倍となり、意欲的な学生51名を確保することができた。アントレプレナーシップやデザイン思考を軸とした講義・演習を展開し、イノベーションの創成をリードする社会変革人材の育成を目指している。令和4年度には第2の学類「観光デザイン学類」を設置して16名の1期生を受け入れたほか、第3の学類「スマート創成科学類」の令和5年度新設を実現した。

「②先導 STEAM 人材育成プログラム(KU-STEAM)の新設」では、導入科目3科目(融合先導知概論A・B、融合先導知実践演習)の開講クラス数を8クラスに増加させ、受講者数が大幅に伸びた。アカデミック・アドバイザー教員による履修指導や学生スタッフによるピア・サポートを通じたラーニング・コミュニティの充実を図った。全新入学者約1,800名対象の履修ガイダンスや全学域学生対象のランチョンセミナーによる説明会を対面にて開催した。

「③学士課程のリベラルアーツ科目である共通教育 GS 科目と学域 GS 科目の拡充」では、前年度より、AI・データサイエンス教育、デザイン思考といった21世紀型スキルを修得する新しいリベラルアーツ教育を全学展開しており、令和4年度には、5,405名(延べ)の学生が共通教育 GS 科目6群を受講した。

「④全学的な教育改革の司令塔としての教学マネジメントセンターの設置」では、教学マネジメントを統括する立場からFD・SD及び教学IRの刷新を進め、令和4年度にはFD研修会を計23回開催し、1,229名の参加者を集めたほか、『教学マネジメントFACTBOOK2022』を新たに公表した。

(3) 今後の展開等

令和4年6月公表「Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」(内閣府総合科学技術・イノベーション会議)が示すとおり、文理融合・分野横断によるSTEAM教育の重要性が増している。本学が目指す「金沢大学発・STEAM教育モデル」の使命は大きく、その成果を分かりやすく社会に発信していきたい。併せて、幹事校として、本事業共通の成果を全国の大学等が活用できるプラットフォームを構築し、補助期間終了後の各取組の持続性を確保していきたい。

(大学等名：金沢大学、事業計画名：融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材育成プログラム)